

4-1

赤羽小学校における総合的な教育力向上の取り組み

東京都北区立赤羽小学校 校長 岩津 泰彦 主幹 田中 一男

はじめに

赤羽小学校は、明治9年の創立で今年で129年目を迎える学校である。児童数は417名、通常学級は12学級、その他に知的障害学級を3学級、通級制の言語障害・難聴指導学級を5学級併設している。校内研究として、平成9、10年度に「読むことを楽しむ子どもを育てる学習指導の工夫」のテーマのもと、楽しみながら学習できる方法や日常の読書活動の活性化を図るための研究を推進し、平成11年度～13年度は、「学ぶ楽しさみつけようーかかわり合いを大切に活動を通して」のテーマで、総合的な学習の時間の研究を進めた。平成14、15年度は「基礎・基本を大切に学習の工夫を通して」のテーマで、国語科や算数科における少人数指導に焦点を当てて研究を推進し、今年度からは、今までの研究の積み上げを基にして、「コミュニケーション能力の育成」をテーマとして、学力向上とコミュニケーション能力との関係を探っているところである。

一方、経営面での調査・研究としては、平成14年度より2年間、文部科学省の委嘱を受けて『学校の評価システムの確立に関する調査・研究』に取り組んだ。学校経営や教育活動に対する『外部評価』をどのようにシステム化するか、評価結果をどのように学校改善に取り入れていくか、評価結果をどのように公表するか等について、学校の状況に応じた具体的な方策についての調査と研究を推進したのである。今年度からは、東京都の『特別支援教育・副籍モデル事業』の拠点校として特別支援教育における支援体制(システム)と指導内容(プログラム)を中心に実践と研究を進めている。

ここでは、本校における総合的な教育力向上の取り組みについて学校経営の視点で報告したい。総合的な教育力の向上のためには、教師の指導力の向上は勿論のこと、学校の組織的な取り組み、家庭や地域社会との連携が重要な要素となる。その考え方と実践、成果と課題について具体的に述べたい。

1 本校の学力向上のビジョン(基本的な方針)

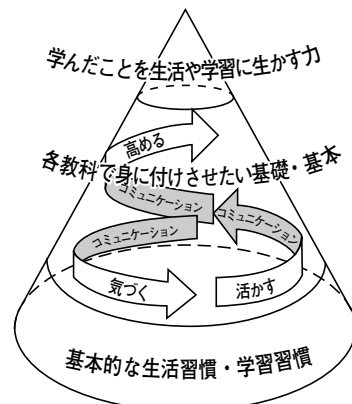
1 学力の捉え方

「学力は、単なる知識の量のみで捉えるのではなく、学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力などを含めたものとして捉える必要がある」と東京都教育委員会は示している。

そこで、本校では、「学力」のイメージを図表4-1-1のように構想した。

「基本的な生活習慣・学習習慣」を基盤とし、「基礎・基本」を身に付け、「学んだことを生活や学習に活かせる」子どもを育成できるように組織で指導していくことにした。

図表4-1-1 学力の捉え方



2 学力向上のビジョン

人間は一人では生きていけない。かかわり合って生きていく。そのかかわりを豊かにするためには、コミュニケーション能力が必要である。コミュニケーション能力とは、「相互理解するために、情報(思い、考え、意見、事実等)を伝え合う能力」と捉え、子ども自身が、子ども相互のコミュニケーションの重要性に気付き、それを活かし、高めることで、学力の飛躍的な向上をねらった。

コミュニケーション能力を身に付けるためには、まず、自分の考えを持たなければならない。そこで、全教科・領域において、子どもが自分の考えを持つ

ようにするための工夫を考えた。そして、それを分かりやすく伝え合うにはどうしたらよいかを考えた。これが、「わかった、できた」という内発的な動機になって、学習意欲が高まり、学力向上に結び付くと考える。

また、コミュニケーションは、子ども同士だけでなく、教師同士、学校と保護者、学校と地域の連携にも欠かせない。校内研究や学校評価等を通して、教師の指導力向上、家庭の教育力向上を図ることにした。

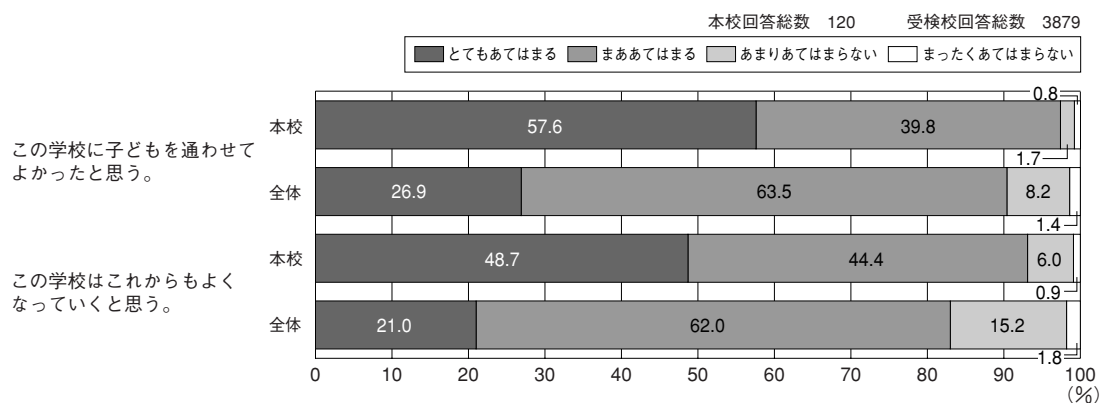
2 「学力調査等」で示されたこれまでの取り組みの成果と課題

本校は、「この学校に子どもを通わせてよかったと思う」「この学校はこれからもよくなっていくと思う」という保護者への設問に対して、『とてもあてはまる』と『まああてはまる』の合計がそれぞれ97.4% (受検校全体90.4%)、93.1% (同83%)であった。特に、『とてもあてはまる』がそれぞれ57.6% (同26.9%)、48.7% (同21.0%)で、保護者の学校に対する総合的

な満足度が高い結果を得られた(図表4-1-2)。

また、「あなたのお子様に通っている学校では、次のようなことはどの程度あてはまりますか?」という『学力向上の取り組みの推進状況』(次ページ図表4-1-3参照)についても、すべての設問において、受検校全体よりも統計的に有意に高いことが裏付けられた。

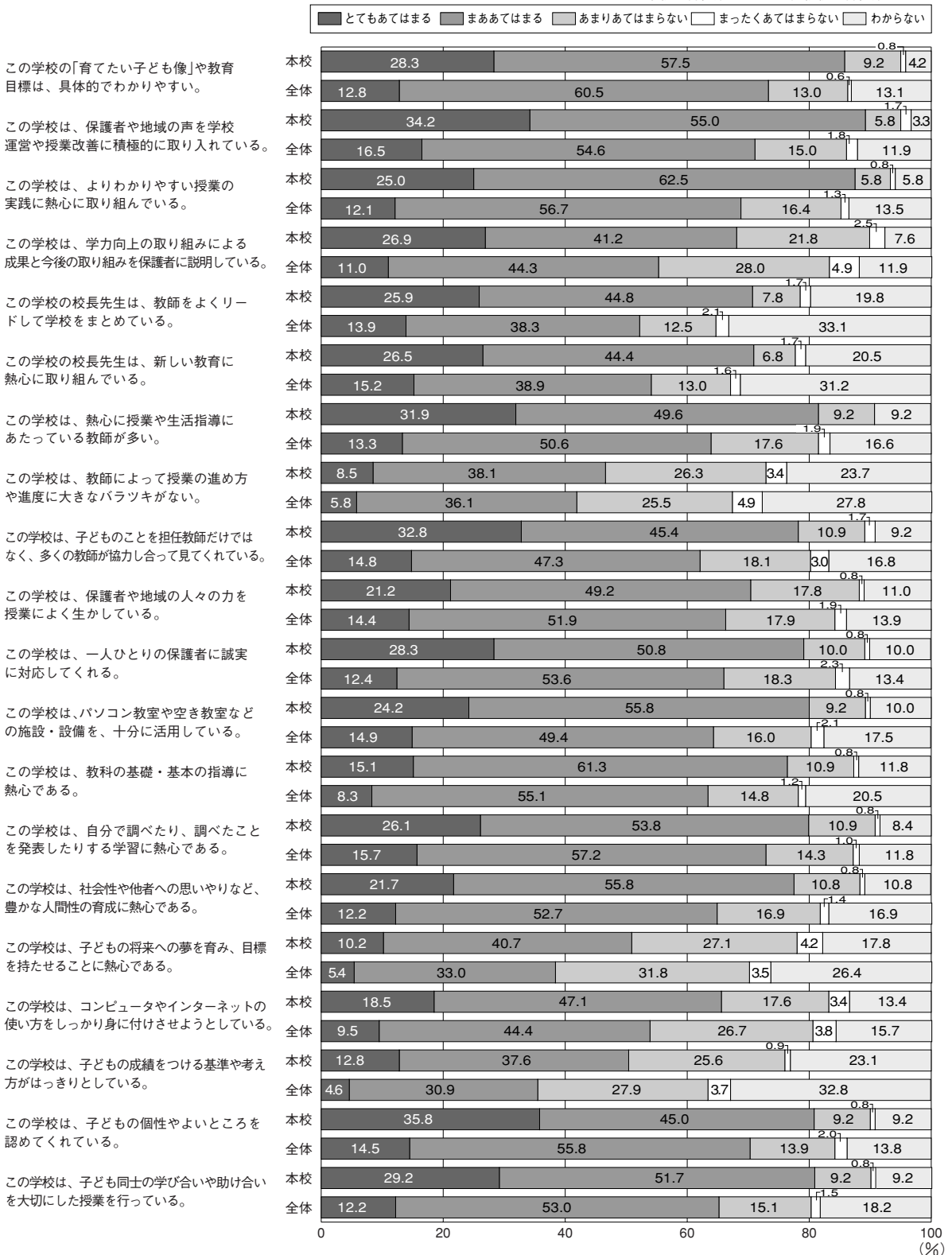
図表4-1-2 「学校に対する総合的満足度」保護者調査実施結果(本校と受検校全体)



「学力向上のための基本調査2004」より

図表 4-1-3 「学力向上の取り組みの推進状況」保護者調査実施結果（本校と受検校全体）

本校回答総数 120 受検校回答総数 3879



「学力向上のための基本調査 2004」より

1 これまでの取り組みと成果

(1) 基本的な生活習慣・学習習慣を身に付ける。

本校が目指す「学力」の基盤となるのが「基本的な生活習慣・学習習慣」である。児童がこれを身に付けるには、家庭の理解と協力を得ることが必要である。

そこで、本校では、次のように工夫している。

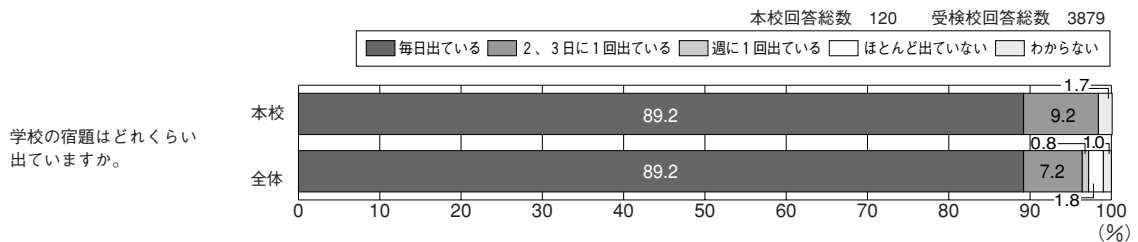
⑦学校は意図的、計画的に宿題を出すことを家庭に知らせる。

どの学校でも行っているが、児童が学習習慣を身

に付けるためには、宿題が必要である。本校では、どの学級も毎日出すことを原則としている(図表4-1-4)。

だからこそ保護者の協力が欠かせない。学年始めの保護者会で、家庭での学習習慣の定着は生涯学習の基盤であることや、学習習慣と基本的な生活習慣には大きなかわりがあることなどを説明し、協力を得るようにしている。

図表 4-1-4 「どれくらい宿題が出ているか」保護者調査実施結果(本校と受検校全体)



「学力向上のための基本調査 2004」より

① 1週間の授業予定を児童、保護者に知らせる。

週ごとの指導計画を生かし、意図的・計画的・組織的な授業づくりを構築するために、「1週間の予定表」を作成・印刷して児童に配布している。これには、家庭で用意してほしいものや時には児童の様子等も掲載し、児童が保護者に見せることによって、家庭との連携を図っている。高学年の児童は、予定表を毎週のりづけしてファイル化し、自分の行動のより

どころとしているので、見通しの立った行動ができるようになった。

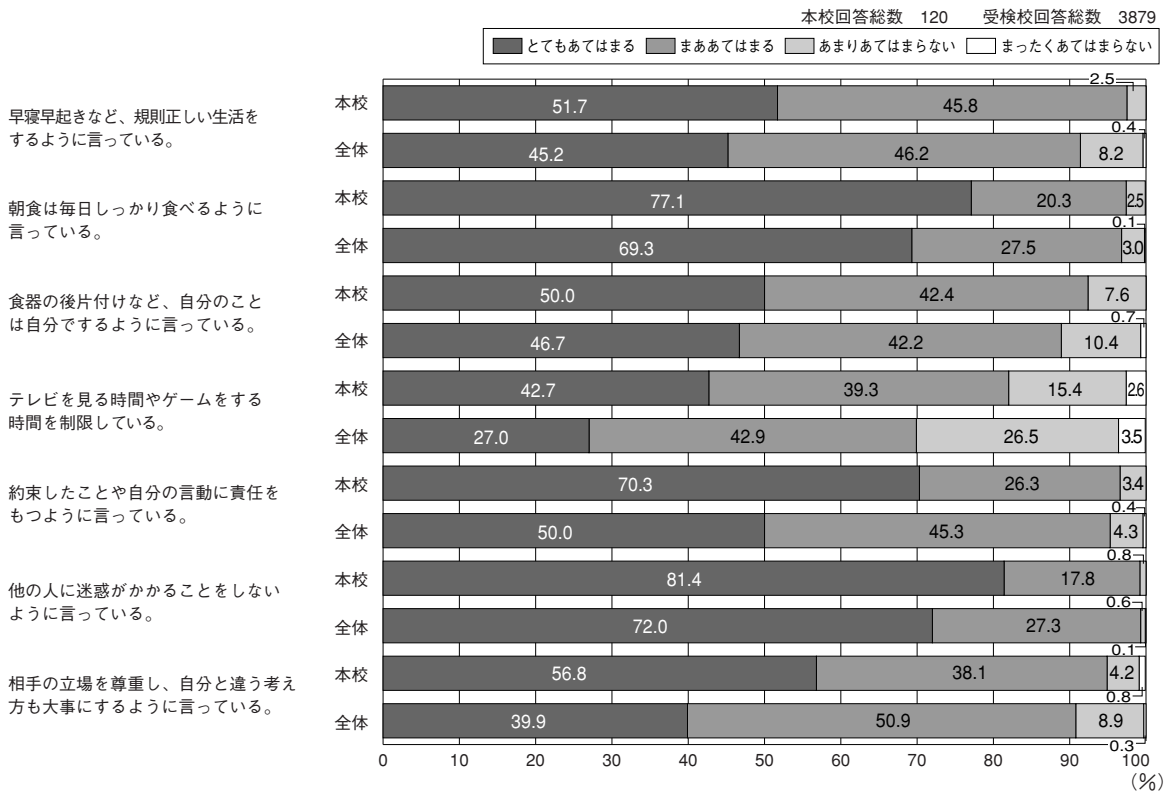
このような「1週間の予定表」を発行するに当たっては、学年内、専科、少人数指導との連携が欠かせない。時間割の弾力的な運用や行事による変更を考慮しながら、1時間1時間の授業の最善化を図るためにも、「1週間の予定表」が重要である。

6年1組 1週間の予定表					10月15日(15日) 10月16日(16日)		10月17日(17日) 10月18日(18日)		北区立幸野小学校 6年1組 担任	
期	全教科	国語	算数	理科	社会	音楽	体育	英語	道徳	その他
1	国語 読書文を書く。	国語 読書文を書く。	算数 【コース別】	理科 「伝えよう」感謝の心と「メロセージ」を	社会 【コース別】	音楽 小テーマ作り	体育 【コース別】	英語 【コース別】	道徳 【コース別】	10月19日は、PTA 赤羽祭りです。忙しい中、ぜひおいでください。来る場合は、お名前を記入してください。
2	国語 同上	国語 同上	算数 まとめのテスト	理科 雨のときは、大地のつくりのことがあがる。	社会 【コース別】	音楽 同上	体育 同上	英語 同上	道徳 同上	机の中 ピットのリ・はまみ・色えんがつ・セロテープ・消しゴム・コンパス・分業機・三角定規
3	国語 委員会活動	国語 委員会活動	算数 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	理科 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	社会 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	音楽 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	体育 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	英語 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	道徳 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	教科書やノート くちくちは、からにする
4	国語 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	国語 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	算数 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	理科 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	社会 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	音楽 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	体育 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	英語 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	道徳 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	教科書やノート くちくちは、からにする
5	国語 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	国語 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	算数 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	理科 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	社会 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	音楽 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	体育 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	英語 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	道徳 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	教科書やノート くちくちは、からにする
6	国語 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	国語 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	算数 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	理科 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	社会 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	音楽 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	体育 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	英語 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	道徳 九九の絵を比べて、新しい世の中の様子を知る。	教科書やノート くちくちは、からにする
7	算数ドリル22	算数プリント	算数ドリル23	算数プリント	算数ドリル24	算数プリント	算数ドリル25	算数プリント	算数ドリル26	算数プリント
8	算数ドリル27	算数プリント	算数ドリル28	算数プリント	算数ドリル29	算数プリント	算数ドリル30	算数プリント	算数ドリル31	算数プリント
9	算数ドリル32	算数プリント	算数ドリル33	算数プリント	算数ドリル34	算数プリント	算数ドリル35	算数プリント	算数ドリル36	算数プリント
10	算数ドリル37	算数プリント	算数ドリル38	算数プリント	算数ドリル39	算数プリント	算数ドリル40	算数プリント	算数ドリル41	算数プリント
11	算数ドリル42	算数プリント	算数ドリル43	算数プリント	算数ドリル44	算数プリント	算数ドリル45	算数プリント	算数ドリル46	算数プリント
12	算数ドリル47	算数プリント	算数ドリル48	算数プリント	算数ドリル49	算数プリント	算数ドリル50	算数プリント	算数ドリル51	算数プリント
13	算数ドリル52	算数プリント	算数ドリル53	算数プリント	算数ドリル54	算数プリント	算数ドリル55	算数プリント	算数ドリル56	算数プリント
14	算数ドリル57	算数プリント	算数ドリル58	算数プリント	算数ドリル59	算数プリント	算数ドリル60	算数プリント	算数ドリル61	算数プリント
15	算数ドリル62	算数プリント	算数ドリル63	算数プリント	算数ドリル64	算数プリント	算数ドリル65	算数プリント	算数ドリル66	算数プリント
16	算数ドリル67	算数プリント	算数ドリル68	算数プリント	算数ドリル69	算数プリント	算数ドリル70	算数プリント	算数ドリル71	算数プリント
17	算数ドリル72	算数プリント	算数ドリル73	算数プリント	算数ドリル74	算数プリント	算数ドリル75	算数プリント	算数ドリル76	算数プリント
18	算数ドリル77	算数プリント	算数ドリル78	算数プリント	算数ドリル79	算数プリント	算数ドリル80	算数プリント	算数ドリル81	算数プリント
19	算数ドリル82	算数プリント	算数ドリル83	算数プリント	算数ドリル84	算数プリント	算数ドリル85	算数プリント	算数ドリル86	算数プリント
20	算数ドリル87	算数プリント	算数ドリル88	算数プリント	算数ドリル89	算数プリント	算数ドリル90	算数プリント	算数ドリル91	算数プリント
21	算数ドリル92	算数プリント	算数ドリル93	算数プリント	算数ドリル94	算数プリント	算数ドリル95	算数プリント	算数ドリル96	算数プリント
22	算数ドリル97	算数プリント	算数ドリル98	算数プリント	算数ドリル99	算数プリント	算数ドリル100	算数プリント	算数ドリル101	算数プリント
23	算数ドリル102	算数プリント	算数ドリル103	算数プリント	算数ドリル104	算数プリント	算数ドリル105	算数プリント	算数ドリル106	算数プリント
24	算数ドリル107	算数プリント	算数ドリル108	算数プリント	算数ドリル109	算数プリント	算数ドリル110	算数プリント	算数ドリル111	算数プリント
25	算数ドリル112	算数プリント	算数ドリル113	算数プリント	算数ドリル114	算数プリント	算数ドリル115	算数プリント	算数ドリル116	算数プリント
26	算数ドリル117	算数プリント	算数ドリル118	算数プリント	算数ドリル119	算数プリント	算数ドリル120	算数プリント	算数ドリル121	算数プリント
27	算数ドリル122	算数プリント	算数ドリル123	算数プリント	算数ドリル124	算数プリント	算数ドリル125	算数プリント	算数ドリル126	算数プリント
28	算数ドリル127	算数プリント	算数ドリル128	算数プリント	算数ドリル129	算数プリント	算数ドリル130	算数プリント	算数ドリル131	算数プリント
29	算数ドリル132	算数プリント	算数ドリル133	算数プリント	算数ドリル134	算数プリント	算数ドリル135	算数プリント	算数ドリル136	算数プリント
30	算数ドリル137	算数プリント	算数ドリル138	算数プリント	算数ドリル139	算数プリント	算数ドリル140	算数プリント	算数ドリル141	算数プリント
31	算数ドリル142	算数プリント	算数ドリル143	算数プリント	算数ドリル144	算数プリント	算数ドリル145	算数プリント	算数ドリル146	算数プリント
32	算数ドリル147	算数プリント	算数ドリル148	算数プリント	算数ドリル149	算数プリント	算数ドリル150	算数プリント	算数ドリル151	算数プリント
33	算数ドリル152	算数プリント	算数ドリル153	算数プリント	算数ドリル154	算数プリント	算数ドリル155	算数プリント	算数ドリル156	算数プリント
34	算数ドリル157	算数プリント	算数ドリル158	算数プリント	算数ドリル159	算数プリント	算数ドリル160	算数プリント	算数ドリル161	算数プリント
35	算数ドリル162	算数プリント	算数ドリル163	算数プリント	算数ドリル164	算数プリント	算数ドリル165	算数プリント	算数ドリル166	算数プリント
36	算数ドリル167	算数プリント	算数ドリル168	算数プリント	算数ドリル169	算数プリント	算数ドリル170	算数プリント	算数ドリル171	算数プリント
37	算数ドリル172	算数プリント	算数ドリル173	算数プリント	算数ドリル174	算数プリント	算数ドリル175	算数プリント	算数ドリル176	算数プリント
38	算数ドリル177	算数プリント	算数ドリル178	算数プリント	算数ドリル179	算数プリント	算数ドリル180	算数プリント	算数ドリル181	算数プリント
39	算数ドリル182	算数プリント	算数ドリル183	算数プリント	算数ドリル184	算数プリント	算数ドリル185	算数プリント	算数ドリル186	算数プリント
40	算数ドリル187	算数プリント	算数ドリル188	算数プリント	算数ドリル189	算数プリント	算数ドリル190	算数プリント	算数ドリル191	算数プリント
41	算数ドリル192	算数プリント	算数ドリル193	算数プリント	算数ドリル194	算数プリント	算数ドリル195	算数プリント	算数ドリル196	算数プリント
42	算数ドリル197	算数プリント	算数ドリル198	算数プリント	算数ドリル199	算数プリント	算数ドリル200	算数プリント	算数ドリル201	算数プリント
43	算数ドリル202	算数プリント	算数ドリル203	算数プリント	算数ドリル204	算数プリント	算数ドリル205	算数プリント	算数ドリル206	算数プリント
44	算数ドリル207	算数プリント	算数ドリル208	算数プリント	算数ドリル209	算数プリント	算数ドリル210	算数プリント	算数ドリル211	算数プリント
45	算数ドリル212	算数プリント	算数ドリル213	算数プリント	算数ドリル214	算数プリント	算数ドリル215	算数プリント	算数ドリル216	算数プリント
46	算数ドリル217	算数プリント	算数ドリル218	算数プリント	算数ドリル219	算数プリント	算数ドリル220	算数プリント	算数ドリル221	算数プリント
47	算数ドリル222	算数プリント	算数ドリル223	算数プリント	算数ドリル224	算数プリント	算数ドリル225	算数プリント	算数ドリル226	算数プリント
48	算数ドリル227	算数プリント	算数ドリル228	算数プリント	算数ドリル229	算数プリント	算数ドリル230	算数プリント	算数ドリル231	算数プリント
49	算数ドリル232	算数プリント	算数ドリル233	算数プリント	算数ドリル234	算数プリント	算数ドリル235	算数プリント	算数ドリル236	算数プリント
50	算数ドリル237	算数プリント	算数ドリル238	算数プリント	算数ドリル239	算数プリント	算数ドリル240	算数プリント	算数ドリル241	算数プリント
51	算数ドリル242	算数プリント	算数ドリル243	算数プリント	算数ドリル244	算数プリント	算数ドリル245	算数プリント	算数ドリル246	算数プリント
52	算数ドリル247	算数プリント	算数ドリル248	算数プリント	算数ドリル249	算数プリント	算数ドリル250	算数プリント	算数ドリル251	算数プリント
53	算数ドリル252	算数プリント	算数ドリル253	算数プリント	算数ドリル254	算数プリント	算数ドリル255	算数プリント	算数ドリル256	算数プリント
54	算数ドリル257	算数プリント	算数ドリル258	算数プリント	算数ドリル259	算数プリント	算数ドリル260	算数プリント	算数ドリル261	算数プリント
55	算数ドリル262	算数プリント	算数ドリル263	算数プリント	算数ドリル264	算数プリント	算数ドリル265	算数プリント	算数ドリル266	算数プリント
56	算数ドリル267	算数プリント	算数ドリル268	算数プリント	算数ドリル269	算数プリント	算数ドリル270	算数プリント	算数ドリル271	算数プリント
57	算数ドリル272	算数プリント	算数ドリル273	算数プリント	算数ドリル274	算数プリント	算数ドリル275	算数プリント	算数ドリル276	算数プリント
58	算数ドリル277	算数プリント	算数ドリル278	算数プリント	算数ドリル279	算数プリント	算数ドリル280	算数プリント	算数ドリル281	算数プリント
59	算数ドリル282	算数プリント	算数ドリル283	算数プリント	算数ドリル284	算数プリント	算数ドリル285	算数プリント	算数ドリル286	算数プリント
60	算数ドリル287	算数プリント	算数ドリル288	算数プリント	算数ドリル289	算数プリント	算数ドリル290	算数プリント	算数ドリル291	算数プリント
61	算数ドリル292	算数プリント	算数ドリル293	算数プリント	算数ドリル294	算数プリント	算数ドリル295	算数プリント	算数ドリル296	算数プリント
62	算数ドリル297	算数プリント	算数ドリル298	算数プリント	算数ドリル299	算数プリント	算数ドリル300	算数プリント	算数ドリル301	算数プリント
63	算数ドリル302	算数プリント	算数ドリル303	算数プリント	算数ドリル304	算数プリント	算数ドリル305	算数プリント	算数ドリル306	算数プリント
64	算数ドリル307	算数プリント	算数ドリル308	算数プリント	算数ドリル309	算数プリント	算数ドリル310	算数プリント	算数ドリル311	算数プリント
65	算数ドリル312	算数プリント	算数ドリル313	算数プリント	算数ドリル314	算数プリント	算数ドリル315	算数プリント	算数ドリル316	算数プリント
66	算数ドリル317	算数プリント	算数ドリル318	算数プリント	算数ドリル319	算数プリント	算数ドリル320	算数プリント	算数ドリル321	算数プリント
67	算数ドリル322	算数プリント	算数ドリル323	算数プリント	算数ドリル324	算数プリント	算数ドリル325	算数プリント	算数ドリル326	算数プリント
68	算数ドリル327	算数プリント	算数ドリル328	算数プリント	算数ドリル329	算数プリント	算数ドリル330	算数プリント	算数ドリル331	算数プリント
69	算数ドリル332	算数プリント	算数ドリル333	算数プリント	算数ドリル334	算数プリント	算数ドリル335	算数プリント	算数ドリル336	算数プリント
70	算数ドリル337	算数プリント	算数ドリル338	算数プリント	算数ドリル339	算数プリント	算数ドリル340	算数プリント	算数ドリル341	算数プリント
71	算数ドリル342	算数プリント	算数ドリル343	算数プリント	算数ドリル344	算数プリント	算数ドリル345	算数プリント	算数ドリル346	算数プリント
72	算数ドリル347	算数プリント	算数ドリル348	算数プリント	算数ドリル349	算数プリント	算数ドリル350	算数プリント	算数ドリル351	算数プリント
73	算数ドリル352	算数プリント	算数ドリル353	算数プリント	算数ドリル354	算数プリント	算数ドリル355	算数プリント	算数ドリル356	算数プリント
74	算数ドリル357	算数プリント	算数ドリル358	算数プリント	算数ドリル359	算数プリント	算数ドリル360	算数プリント	算数ドリル361	算数プリント
75	算数ドリル362	算数プリント	算数ドリル363	算数プリント	算数ドリル364	算数プリント	算数ドリル365	算数プリント	算数ドリル366	算数プリント
76	算数ドリル367	算数プリント	算数ドリル368	算数プリント	算数ドリル369	算数プリント	算数ドリル370	算数プリント	算数ドリル371	算数プリント
77	算数ドリル372	算数プリント	算数ドリル373	算数プリント	算数ドリル374	算数プリント	算数ドリル375	算数プリント	算数ドリル376	算数プリント
78	算数ドリル377	算数プリント	算数ドリル378	算数プリント	算数ドリル379	算数プリント	算数ドリル380	算数プリント	算数ドリル381	算数プリント
79	算数ドリル382	算数プリント	算数ドリル383	算数プリント	算数ドリル384	算数プリント	算数ドリル385	算数プリント	算数ドリル386	算数プリント
80	算数ドリル387	算数プリント	算数ドリル388	算数プリント	算数ドリル389	算数プリント	算数ドリル390	算数プリント	算数ドリル391	算数プリント
81	算数ドリル392	算数プリント	算数ドリル393	算数プリント	算数ドリル394	算数プリント	算数ドリル395	算数プリント	算数ドリル396	算数プリント
82	算数ドリル397	算数プリント	算数ドリル398	算数プリント	算数ドリル399	算数プリント	算数ドリル400	算数プリント	算数ドリル401	算数プリント
83	算数ドリル402	算数プリント	算数ドリル403	算数プリント	算数ドリル404	算数プリント	算数ドリル405	算数プリント	算数ドリル406	算数プリント
84	算数ドリル407	算数プリント	算数ドリル408	算数プリント	算数ドリル409	算数プリント	算数ドリル410	算数プリント	算数ドリル411	算数プリント

本校の努力に対して、保護者も非常に協力的である。「家庭でのしつけ」についての調査結果について

も受検校全体よりも統計的に有意に高いことが裏付けられた（図表4-1-5、図表4-1-6）。

図表4-1-5 「生活習慣と社会性の育成」保護者調査実施結果（本校と受検校全体）



⑤ 保護者が授業に参加する授業参会を行う。

授業参観というと、単に保護者が教室の後ろで授業を参観するだけであった。しかし、児童だけでなく保護者も、見るだけでなくやってみて分かることが多いものである。

そこで、本校では、年に1回、「授業参会」として参加型の授業参観を行っている。例えば、図工の授業で、保護者が児童と一緒に作品を作ってみると、思いの外、難しさを体験するものである。また、算数の授業で、TTとなって児童を指導すると、児童の考え方に驚いたり、対応に苦慮したり、理解させて喜びを得たりする。

このようなコミュニケーションがきっかけとなって、児童の学力が向上したと考える。

(2) 各教科等の基礎・基本を身に付ける。

本校が目指す「学力」の柱となるのが「各教科等の基礎・基本」である。これは、言うまでもなく、学習の内容である。

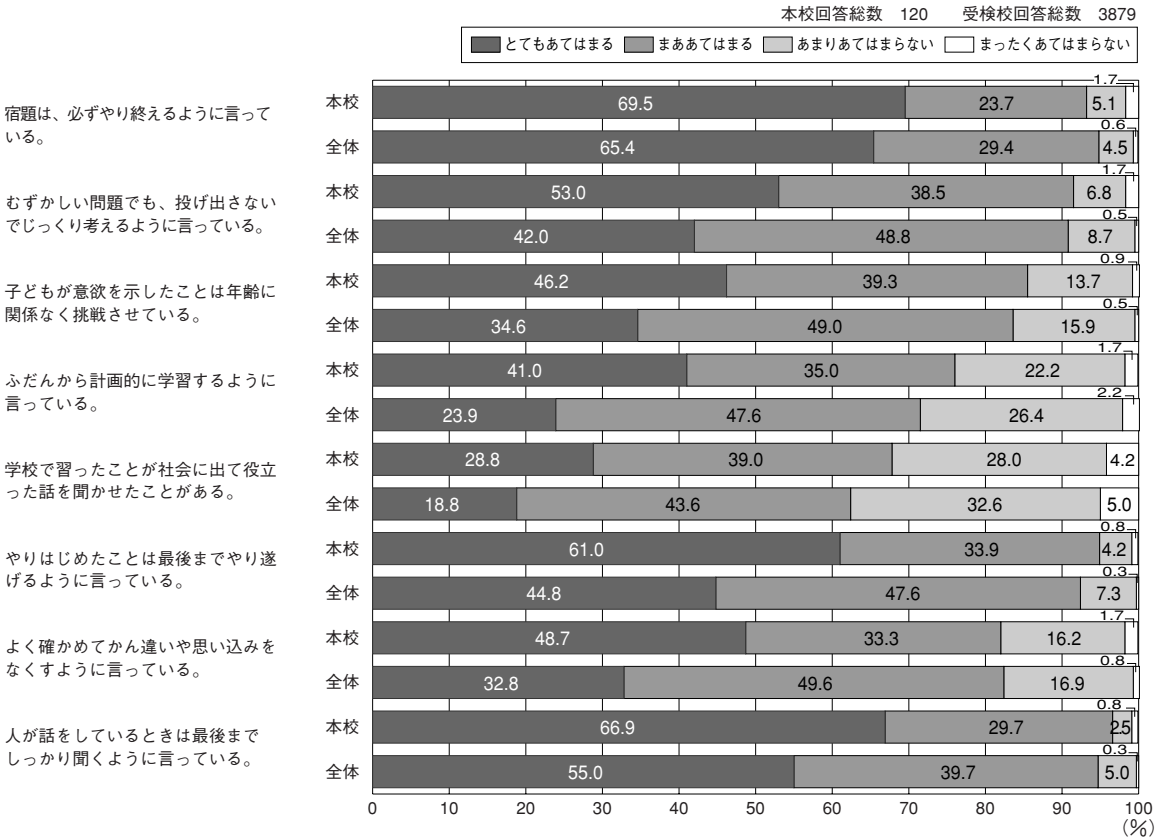
そこで、本校では、次のように工夫している。

⑦ 習熟の程度や興味・関心等に応じた少人数学習集団で指導する。〈算数科〉

2学級を単に3つに分けて指導するだけでは、不十分である。確かに、学習集団が小さくなれば、一人ひとりに目をかけやすい。さらに、習熟度に配慮して分ければより「個に応じた教育」が推進されると考える。

しかし、「加配を含めた3人の教師がチームを組んで指導する」というTTの考え方を大切にしなければ、指導方法の改善につながらない。小さくした学習集団を「別々の学級」として捉えず、協力教授をし

図表 4-1-6 「学習習慣の確立」保護者調査実施結果（本校と受検校全体）



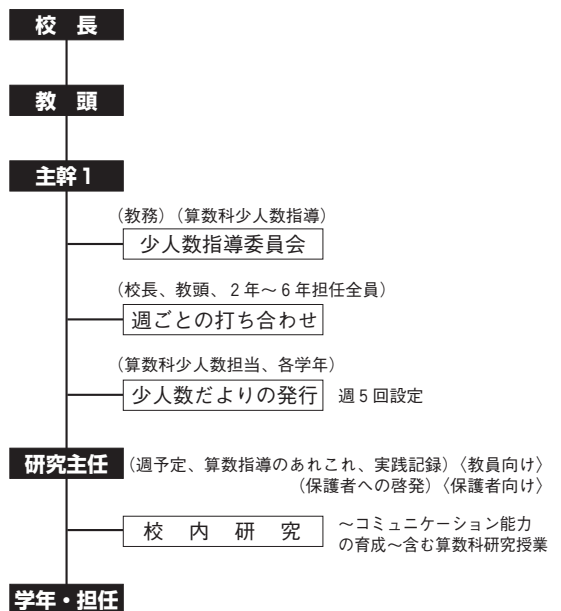
ていると考えている。

本校は、算数科において、少人数学習集団で指導している。

協力教授のため、指導計画の作成と評価規準の作成が重要となる。また、指導する教師同士の情報交換が大切である。学期中は、それぞれの授業の進み具合いや児童の学習状況を交換し合って、適宜、授業改善を図っている。

受け持つ児童が単元ごと、あるいは、時間ごとに異なるので、評価についての話し合いも必要である。そこで、右図のように、算数科の指導に組織的に取り組んでいる。

◆組織



◆時間割編成

加配の持ち時数は20時間である。そこで、次のように時間割を編成し、年間の指導時間を確保するとともに、教師同士のコミュニケーションを図るため

に打ち合わせ時間を設定した。少人数指導の打ち合わせ時間を4校時に設定できたのは、専科教諭の協力で、図工と音楽を同学年同時刻に設定できたことによる。

校時	月	火	水	木	金
1		6年	3年	4年	5年
2	6年	6年	3年	4年	5年
3	2年	5年	2年	2年	6年
4	4年	4年打ち合わせ	6年打ち合わせ	5年打ち合わせ	3年打ち合わせ
5	3年	2年	4年	5年	3年
6		2年打ち合わせ			

◆保護者の理解と協力を得る。

これらのことも保護者によく連絡し、理解・協力を得られたからこそ実行できた。習熟度別に授業すると差別感を招くという不安感を払拭したり、児童や保護者がどのように考えているかをアンケートで調べたり、「少人数だより」で情報を流したり、少人数指導の授業参観を計画的に行ったりしている。

④パソコンを活用して夏期算数教室を開く。〈算数科〉

夏期休業中には、2年生以上の児童を対象に、パソコンを活用して夏期算数教室を開いた。大学生のボランティアも含め複数の教員で、40台のパソコンを活用して、9日間に渡って指導した。

平成16年度には、157名の申し込みがあったので、1時間ごとに分けて指導しなければならないほど、保護者の期待が高かった。内容は、基礎・基本ドリルと実力テストの繰り返しであった。実施後の児童に対するアンケートを見ると、「パソコンで勉強するのが楽しかった」「いっぱい練習したので、算数の力が伸びた」「先生たちがわからないところをやさしく教えてくれたからよかった」などと好評であった。児童が変われば保護者も変わるので、保護者も好感をもったと考える。

⑤読書活動を重点として推進する。

本校は、朝の10分間の読書タイムを設定している。ただ読ませるというのではなく、読書計画を立てて子どもたちに読書の楽しみを味わわせるとともに、想像力や表現力を育成している。また、ブックボラ

ンティアや赤羽図書館、保護者や地域の人との連携のもとに読み聞かせを実施している。

5月と10月は読書月間として、読書カードを用いて、保護者に協力を求めながら、学校が重点的に指導している。

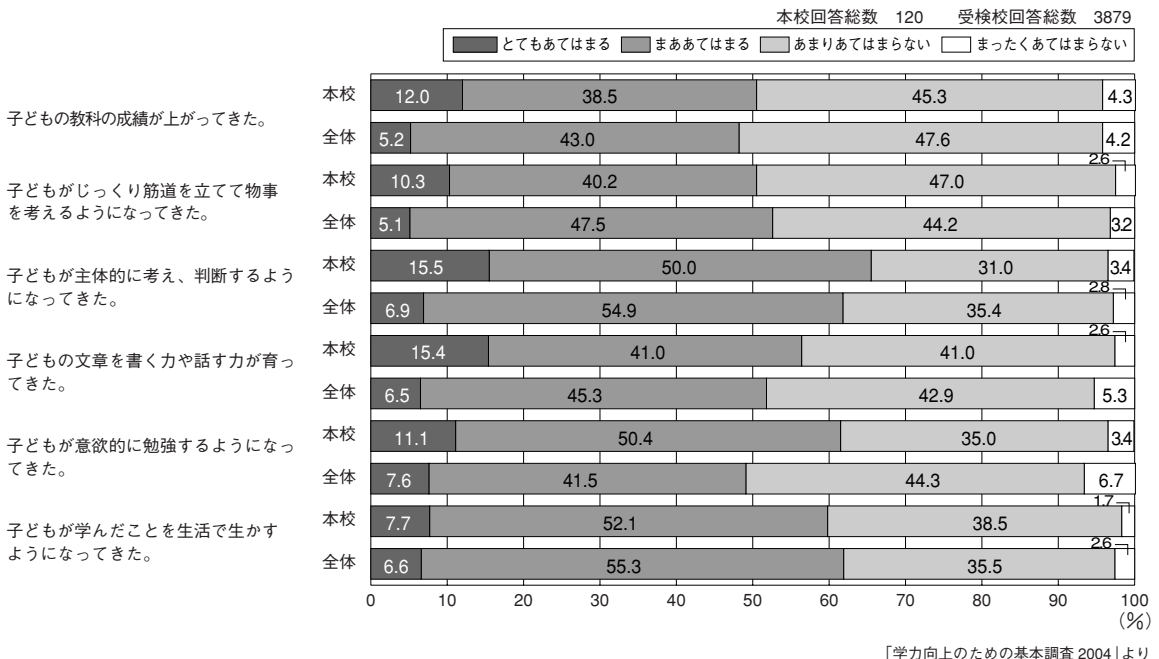
⑥学力テストを実施し、児童の実態を把握して指導の改善を図る。

本校では、毎年3、5年生を対象に、学校予算(7万円程度)で国語と算数の市販の学力テストを実施している。最近、コンピュータで処理され、学級や学年の全体的な学力の傾向や一人ひとりの児童の学力がよく分かるようになってきている。しかも、一人ひとりの児童に対する保護者向けのプリントもついてくる。

これをもとにして、指導計画の修正や児童への支援、授業の改善を行うことができるようになった。

2 「学力調査等」で示された課題

図表 4-1-7 「教科学力の子どもの変容」保護者調査実施結果〈本校と受検校全体〉



(1) 保護者の要望にも目を向けて、授業改善を図っていく。

本校は、学校評価システムがある程度構築されているが、今回の「学力向上のための基本調査 2004」のような細かいところまでつこんだ内容を保護者に調査することはしていなかった。

例えば、宿題への要望では、「子どもが達成感や自信をもつようなやり方を工夫してほしい(47.1%)」や「授業の理解度に応じた宿題を出してほしい(44.5%)」が半数近くを占め、考えさせられた。また、授業への要望では、「実験・観察や体験的な学習を充実させてほしい(53.4%)」が半数を超えている。このような保護者の要望にも目を向けて、授業改善を図っていくにはどのようにしたらよいかが課題である。

(2) 「学んだことを生活や学習に生かす力」を育てる。

本校では、「学んだことを生活や学習に生かす力」を学力の頂点と捉えている。しかし、保護者調査実施結果では、教科の成績の向上や、主体的に判断する力、文章を書く力や話す力の向上などを評価する割合は、受検校全体よりも高いものの、生活に生かす力や学習に生かす力はあまり育っていないことが

分かった(図表 4-1-7)。今後の授業では、この点に留意した指導をどのようにするかが課題である。

(3) 保護者と連携を深めて、授業改善を図っていく。

今回の調査で、保護者のしつけがしっかりなされていることが分かった。学校からの一方通行だけではない情報交流の必要性和、保護者・地域と共に子どもを育てるという意識を強くもち、授業改善を図っていくには、どのようにしたらよいかが課題である。

(4) 授業改善推進プランを作成する。

分析結果をもとにプロジェクトを立ち上げて原案を作り、学校全体で話し合って全体計画を作成し、授業改善に取り組むとともに、その取り組みを公開する。このことが単にプランで終わることなく実際の授業に結び付ける必要がある。一定期間実施後は、外部評価、内部評価を活用して、必要ならば年度途中でも授業改善プランを修正していくことが必要である。これらのプランの作成と実施をどのようにシステム化するかが課題である。

3 学力向上に向けての総合的な教育力向上の取り組み

1 教師の指導力向上の取り組み

(1) 校内研修の充実

教師の指導力向上を図るには校内研修の充実が第一である。本校では、校内研修の重要な一環として研究を位置づけている。それも、ただ闇雲にやるのではなく、児童の実態、社会の要請に即した学校の課題解決のためのものでなければならない。また、実践のための研究であることをしっかりと認識し、研究の成果を実践にうつし、実践のつまづきを研究に活かす、このことを全教職員が理解して推進することこそが大切である。本校では、過去7年間で3回の区研究協力校としての研究を行ったが、これも教員自らが研究協力校として研究したいとの意向を受けたものであり、この機会を研究意識の向上と指導力向上のきっかけにしたいと考える。

(2) 学力についての認識の共有

学力についての考え方は多様であるが、自校の学力観を明確に確立し、その認識を全教職員が共有して指導に当たることは何よりも大切である。本校では、学校経営説明会と称して、全教職員を対象に、

学校経営計画全般についての説明や意見交換をして共通認識を図るようにしている。学力についても、その定義を明確にして、その後の生活指導や学級指導、保護者への協力依頼を行うのである。

(3) 通知表に対する意見の聴取

現在、指導と評価の一体化が求められている。通知表は保護者も児童も関心が高い文書であるにもかかわらず、学校だけで作成することが多い。そこで、保護者や児童に対して通知表が分かりやすいものとなっているかについての意見を聞き、それらを参考に通知表の改定とともに指導や評価の在り方、授業改善と教員の意識向上を図っていきたいと考える。

(4) 少人数指導の充実

算数科における少人数指導の充実を重点として実践している。詳細は前ページを参照していただきたい。国語科における少人数指導の研究も実践したが人員の関係もあり限界を感じた。

2 家庭への啓発

(1) 学力についての認識の共有

保護者に対する本校の学力についての説明は、保護者会、学校教育説明会、学校便りや少人数便りなどの各種便り等で行っている。意見交換をしながらあらゆる機会を活用して粘り強く説明している。

(2) 基本的な生活習慣・学習習慣への理解と協力の依頼

家庭学習については、「宿題は終わったの」と一声かけてほしい、学習に取り組んでいるときは励ましていただきたいなどの協力を依頼し、それらの積み重ねが学習習慣の育成や学習意欲の向上につながるなどについて出来る限り平易な言葉で説明し、意見交換を図り認識の共有を図っている。家庭の協力がなしに学校だけで学力向上は図れないと考えてい

るからである。

(3) 学力調査の実施とそれを基にした面談の実施

3・5年生を対象に本校独自の学力調査を実施して、その結果から保護者との個人面談を開き、児童の実態や結果を示して支援方策や授業改善についての説明をしたりしている。

3 学校全体の組織的取り組み

(1) 夏期休業中の夏期算数講座や早朝算数講座の開催

夏期休業中に希望者を募り夏期算数講座を開催している。楽しく学び、算数が好きになるようにコンピュータを使っての講座とした。またそれ以外に、保護者の希望と了解のもと、毎日、始業前に早朝算数講座を開催し基礎の定着を図っている。

(2) 学力向上の特別支援事業の実践

集中力に欠けてしまう児童や学習習慣が身につけていない児童には、本人や保護者の承諾を得て個別の指導計画を立て、ボランティアによる学力向上の特別支援事業を実践している。北区には、退職した校長や教頭による「生涯学習推進奉仕団」という組織があり、その方々の力を借りて、国語科や算数科における個別指導やTTでの指導を行い、個に応じた指導として充実させたいと考えている。

(3) 徹底した説明責任の遂行

保護者や地域の協力を得るためには徹底した説明が必要となる。4月初めに保護者対象の学校教育説明

会を開催し、学校経営の重点、教育課程の重点、特色ある教育活動等を各担当者が分かり易く説明している。これは、学校評議員や教育モニターとの意見交換会も兼ねている。また、各クラスごとに、毎週の授業計画と指導の留意点を記した一覧表の配布による説明や各種の便りによる情報提供、保護者会での説明、生活指導上の情報の迅速な提供等を適宜行い、これらを説明の機会としている。

(4) 学校公開の拡大

保護者や地域社会に学校を外からよく見えるようにすることが肝要であり、その上で情報の提供や説明責任を果たしていくことが重要と考える。授業参観の増加、保護者が授業に参加する授業参会日の設定、各種行事の公開、全ての研究授業の公開、年間40時間の英語活動の全面公開、総合的な学習の時間の公開等を実施している。また、学校評議員と教育モニターには、職員会議や研究協議会の公開もして説明責任・学校公開に努めている。

4 自己点検・自己評価(外部評価)の実施

保護者、児童、学校評議員、教育モニター、教職員による自己点検・自己評価を実践し、それらの評価を総合して学校改善策を作成して次年度に活かすとともに、評価結果と改善策を公表する。

(1) 保護者の評価

『学校診断アンケート』として、学校経営、教育活動、教育相談等の評価を行っている。当初は、自由記述欄に厳しい意見も多く、評価の活かし方が課題であった。例えば、「基礎学力は学校外で身に付けている」「行事が多すぎる。教員の自己満足ではないのか」「各種の教育活動は形だけであり子ども不在のイベントとなっている」「学習時間が減り、行事で減った授業を補ってもらっているのか疑問である。土曜日に補習授業を開いてほしい」などである。しかし、厳しい意見が多い一方、評価となると満足度も高く、

甘い評価が目立った。そこで、徹底した説明と学校公開の拡大、学力についての認識の共有などの実践を進めていった。その結果、今年度の授業に関する評価は全ての項目で上昇し、自由記述欄には、「熱意が伝わってくる」「楽しい授業である」「感謝している」等の記述が出てきた。

(2) 学校評議員、教育モニターの評価

学校評議員、教育モニターからの評価は、毎年、肯定的な評価である。教員の個人差を前提にして、協力教授、交換授業を実践するようにとの提言があり、これは今後の課題である。

(3) 児童の評価(4年生以上)

『学校生活アンケート』として学校生活全般、教育活動、授業診断等の評価を行っている。概ね授業や

学力についての満足度は高い。自由記述では、「勉強が早すぎる」「勉強をもっと早く進めてほしい」といった正反対の意見もある。指導の工夫についての意見では、「話すのをゆっくりしてほしい」「実験の時間を増やしてほしい」「意見を大切にしてくれる」など、また少人数指導についての意見では、「算数が少しずつ好きになってきた」「クラスによっては、理解出来ないまま終わることがある」「一緒に勉強したことの無い人とやるのが良い」などが出て、励みになったり検証や改善策を考えるヒントになったりしている。

(4) 教職員の評価

校長の学校経営計画を基にして項目を設定して評価を行う。毎年メンバーが代わるので単純に比較はできないが、教員は自分に対して厳しく評価する傾向がある。一例をあげると、「分かりやすい授業」の項目で、平成14年度の教員の肯定的な評価は100%であったのが、今年度は76%へと低下した。児童は14年度が76%、今年度は93%と上昇傾向で、保護者も14年度が84%、今年度は86%となっている。

教員が自己満足するのではなく、より高いハードルを設定したのかもしれない。

(5) 評価結果と学校改善策、授業改善策

本校では、保護者、児童、教職員の評価の『ずれ』を大切に授業改善、指導計画改善につなげている。例えば、「基礎学力が身につけている」と思っている児童は80%で、保護者の82%、教員の91%より低いものとなっている。「工夫のある楽しい授業」の設問では、児童は93%が肯定的な評価をしているのに保護者の評価は86%、教員の評価は76%と低いものとなっている。評価の『ずれ』を今後の授業改善に活かしていきたいと考える。ただ、外部評価の目的(手段)は明確にする必要があり、本校では、外部評価はあくまでも内部評価の補完と考えている。教職員による内部評価だけでは、マンネリ化や独善的となり、多面的・客観的な評価が難しい。そこで、第三者評価を受けることにより内部評価を補完しているのである。

4 校長の学校経営の方針とこれまでの取り組み

1 具体的経営計画(方針)

基本方針として、(1)確かな学力の育成、(2)豊かな心の育成、(3)健やかな体の育成、(4)特色ある教育活動の推進、(5)活力ある学校経営の推進の5つを柱としている。『確かな学力の育成』の具体的な取り組みは、「学習指導の充実を図る」として、①日々の学習指導の充実、②少人数指導の充実、③TT授業や交換授業の実施、④多様な学習方法の実践、⑤繰り返しの学習の推進、⑥個に応じた指導の推進の6点、「指導法の工夫・改善と充実を図る」として、①校

内研修の充実、②教育機器の活用、③評価の検証の3点を推進している。その他、「地域の人材活用」「総合的な学習の時間の充実」「読書活動の推進」も並行して進めている。また、都教育委員会指定の『特別支援教育・副籍モデル事業』の拠点校としての研究と実践、知的障害学級における区の通常学級との交流事業指定校の実践も併せて、推進することで、本校の全ての子どもたちに対する学力向上の組織的な実践と位置付けている。

2 成果と課題

学校経営説明会で、校長より教職員に対して今年度の学校経営の基本方針、具体的な取り組みや改善策、予算から評価までを説明し意見交換をした。学校経営計画を教職員による内部評価の項目としてい

ることからも十分な理解と認識が必要だからである。その結果、学力についての考え方、組織的な取り組み、学力調査の活用などを全教職員がしっかりと理解して実践するようになった。

外部評価や説明責任、学校公開などを通して、教職員の意識改革が少しずつ進んでいる実感を得ている。課題は、興味も関心も抱いてもらえない一部の

保護者への協力依頼、一斉授業に付いて行けない一部の児童へのボランティアによる個別指導の拡大等である。

5 今後の学力&教育力向上へのアクションプラン 21

今までの成果を基に、一層の改善と充実を図り、保護者や地域社会との連携を深め、下記のような 21 項目のアクションプランを『学力向上アクションプラン 21』として策定したいと考える。

- ①児童の基礎学力の実態の把握と結果の活用～学力テストの実施とその活用、家庭への理解・啓発
- ②日々の授業の充実～綿密な教材研究と指導形態・指導法の工夫
- ③週の指導計画の充実～週案の活用～一週間の指導の成果やつまずきを次の週の授業に活かす
- ④校内研究の充実～研究推進委員会の開放・全員参加等、組織を生かして学校の具体的な課題解決を図る
- ⑤少人数指導の充実～指導や進度についての綿密な打ち合わせと実践
- ⑥総合的な学習の時間と教科学習の関連強化～教科で身に付けた知識や技能を総合的な学習に生かす
- ⑦評価を生かした授業改善の推進～関心や意欲の高まり、思考や理解の深まりを評価する
- ⑧夏期算数教室、早朝算数教室等、課外学習の充実
- ⑨朝学習、放課後学習、朝読書の時間を活用して補充的な学習、発展的な学習の採用
- ⑩特別支援教育～LD、ADHD、高機能自閉症の児童への指導と支援や相談活動
- ⑪ボランティアによる学力の特別な支援事業を拡大、外国人児童への日本語指導の実践
- ⑫教員同士、保護者、児童による『学力』についての共通の認識をもつ
- ⑬説明責任の徹底～学力向上への取り組み、児童の実態等への徹底した説明責任を果たす
- ⑭学校公開の拡大～学校を分かりやすくする、開かれた学校の実現
- ⑮外部評価の学校改善への反映～外部の評価を参考に学校改善を図る
- ⑯家庭への啓発と協力依頼～生活習慣の確立と学ぶ習慣育成のために協力依頼
- ⑰評価の『ずれ』への注目～保護者、児童、教職員の『ずれ』から授業改善を図る
- ⑱客観的、多面的な内部評価～内部評価を客観的に評価し、改善策を通して教員の意識改革を図る
- ⑲指導と評価の一体化～評価の在り方の検証と通知表についての評価
- ⑳見えない学力の育成～想像力、コミュニケーション能力、学ぶ意欲等を育成するための研究実践と家庭への啓発
- ㉑研究協力校、研究拠点校、交流指定校における実践と研究を深め、学校全体の教育力向上を図る